

**V03b**      **光赤外望遠鏡公開データアーカイブシステム SMOKA の新機能版の公開**  
吉野 彰、榎 基宏、仲田史明、山田善彦、八木雅文、高田唯史、市川伸一 (国立天文台)、小澤友彦 (みさと天文台)、洞口俊博 (国立科学博物館)

SMOKA (Subaru-Mitaka-Okayama-Kiso Archive system, <http://smoka.nao.ac.jp/>) は、国立天文台天文データセンターが運用する、一般研究者向けのサイエンスアーカイブである。2001年6月の公開開始から5年が経過し、SMOKA 利用者は着実に増え、SMOKA から取得したデータによって得られた研究成果も増えてきている。利用者の利便をはかり、高品質なデータを提供できるように、SMOKA 開発チームは新機能の開発を続けている。今回は、検索機能の強化を中心に新機能を実装した SMOKA 新版 (ver.3.0) を2006年5月24日に公開したので報告する。

今回実現した新検索機能は以下の通りである。(1). Suprime-Cam データ専用検索：ピンポイント検索と品質評価指標による検索を可能にする (2005年秋季年会 V39b)。(2). 全項目検索：FITS ヘッダにある任意のキーワードを対象に値 (の範囲) を指定しての検索を可能にする。(3). 全文検索：コメント行を含む FITS ヘッダの全ての語句を対象にした検索を可能にする。

また Suprime-Cam データについては SMOKA 開発チームで作成した複数版の一次処理済データを選択できるようにした。さらに気象データや環境データの閲覧機能も強化した。本講演では、SMOKA 新版の新機能を紹介するとともに、本年会までに公開される予定のすばる望遠鏡の MOIRCS、K3D データと、今後公開される予定の MITSuME 望遠鏡観測データについても論ずる予定である。